

15. 成長・発達

Growth and Development

【1】期間 2026. 6. 25～7. 6

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎竹谷健（教授，小児科学）

担当講座：小児科学

【3】授業の目的

胎児期から思春期までの成長と発達の特徴を理解し、子どもの身体的・精神的・社会的発達を総合的に捉える力を身につける。

さらに、小児期にみられる主要な疾患の診断・治療・予防の基礎を学び、小児医療の基本的な考え方を理解する。

加えて、小児保健や虐待対応などの社会的課題を含め、子どもの健やかな成長を支える医療の役割を理解する。

【4】授業の到達目標

1. 新しい生命が誕生してから、新生児，乳児，幼児，学童，思春期を経て成人するまでの、身体的成長（諸臓器の発達）および機能発達（神経，精神，情緒，社会性の発達）について説明できる。
2. 成長・発達過程で起こる「形態的障害」と「機能的障害」に分けて説明できる。
3. 小児保健活動の内容と意義を説明できる。
4. 虐待の種類、原因、対応、予防を系統的に説明できる。
5. 小児の症候学、診察法を系統的に説明できる。
6. 新生児の分類，生理，評価方法について説明できる。
7. 新生児に起こる疾患の種類，診断と治療を説明できる。
8. 子どものころに関する疾患の病因、分類，病因，診断，治療、支援について説明できる。
9. 先天性心疾患の血行動態、診断、治療について説明できる。
10. 小児の神経、内分泌・代謝、血液腫瘍、アレルギー、感染症、歯科領域、整形外科領域、脳神経外科領域、眼科領域、形成外科領域、耳鼻咽喉科領域の診断、治療を説明できる。
11. 小児の放射線診断および放射線への影響を説明できる。

【5】授業の進め方

コース実施期間に講義を行い，最終日に試験を実施します。

【6】キーワード

成長、発達、小児医療、小児保健

SDGs：3. すべての人に健康と福祉を，4. 質の高い教育をみんなに

【7】総合評価

学習到達度の評価は、テスト（場合によっては、レポート）で行う。

【8】参考図書（◎は購入推薦図書，他は図書館に備えてあります）

- | | | |
|--------------------------------------|----------|----------------------|
| ◎ 1. 標準小児科学 | 森川昭廣他 | 医学書院 |
| 2. 小児科学・新生児学テキスト | 阿部敏明他 | 診断と治療社 |
| ◎ 3. Nelson's textbook of pediatrics | Behrma | Saunders-Igaku Shoin |
| ◎ 4. ネルソン小児科学 第19版 | 衛藤義勝他（訳） | エルゼビアジャパン |

- | | | |
|--|-------------|----------------|
| 5. 小児科 診断・治療指針 | 遠藤文夫 (編) | 中山書店 |
| 6. シンプル小児科学 | 香美祥二 | 南江堂 |
| 7. 小児神経科 | 前垣義弘 | 診断と治療社 |
| 8. 小児科外来の鑑別診断術 | 宮田章子 | 中山書店 |
| 9. Pediatric Clerkship Guide 2nd edition | Woodhead JC | Mosby Elsevier |

【9】局所解剖 なし